

令和4年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 87

千葉県立小見川高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者3名の面接 検査時間：5分
(3) 作文	評価者3名 字数：600字以内 検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書 [320点満点]

アの数値に、エについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=2$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数の合計が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	部活動実績県大会以上、生徒会本部役員、資格、学校内外の活動等について加点（上限50点）する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接 [90点満点]

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを10点、bを6点、cを2点とし、3名の評価者の評価（各30点満点）を合計し、得点化する。評価cが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 態度	面接を受ける態度が適切である。

(3) 各高等学校において別に定める検査（作文） [90点満点]

3名の評価者が、次の2つの評価項目について、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを15点、bを10点、cを5点とし、3名の評価者の評価（各30点満点）を合計し、得点化する。評価cが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 表現力	問題の主旨を正しく理解し、自分の考えを明確に述べている。
イ 文章構成力	適切な文章量で構成され、正しい漢字が使用されている。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「各高等学校において別に定める検査の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点		面接の得点	各高等学校において別に定める検査の得点	総得点
評定 (K=2)	加点			
270点	50点	90点	90点	500点

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

4 その他

過年度卒業者については、各高等学校において別に定める検査終了後、別途個人面談を行う。